



恩人の皆さま

今年一月十二日に起きたハイチ地震被災者のためのご支援、ありがとうございました。皆さまからあたたかいご支援を受けた多くの人びとに代わって、心から感謝を申し上げます。本来なら皆さま一人おひとりに札状をお送りしなければならないところですが、このニュースレターをもつて代えさせていただきたいと思います。

あの大災害から半年が経過しました。

ハイチの再建は非常にゆっくりとしたペースで進んでいるようです。ご存じのように、ハイチは三十万人が犠牲となつた地震の壊滅的被害を受ける前から、長年にわたつて世界でも最も貧しい国の一いつでした。悲惨な状況は今もなお続いています。多くの人びとが生活必需品に事欠いたままテントで生活しています。さらにはテントさえ無い貧しい人びとが数多くい

地震被災者のための支援、ありがとうございました。皆さまからあたたかいご支援を受けた多くの人びとに代わって、心から感謝を申し上げます。本来なら皆さま一人おひとりに札状をお送りしなければならないところですが、このニュースレターをもつて代えさせていただきたいと思います。

政府の無力さはさておき、わたしたちがいかに支援をし続けることができるかが差し迫つた課題です。人びとの緊急を要する事態に応えるためだけではなく、国の再建を助けるためです。サレジオ会のチャーベス総長は二月にハイチを訪問し、わたしたちに訴えていました。「國の再建の鍵となるのは青少年への教育であり、そのためには皆さんの支援を有効に使いたい」と決意されています。

ハイチのほか、この一年の間、皆さまの愛により、次のところにも支援を送ることができました。

ハイチのほか、この一年の間、皆さまの愛により、次のところにも支援を送ることができました。

マダガスカルへ、教育プロジェクトと小教区の支援のため。アルゼンチンへ、イエスのカリタス修道女会のシスターたちがブエノス・アイレスの郊外で運営するプロジェクトのため。ブエノス・アイレスのプロジェクトは、その地区の最も貧しい人々を助けるものです。シスターたちは二〇〇八年からアルゼンチンで献身的に働いています。

お願いする次第です。彼らの叫びをわたしたちの心とし、まわりの人びと分かち合いましょう。寛大な愛による支援の輪が広がるよう願っています。

三月末現在、ハイチのためにいたいたご支援は六、八四三、〇〇〇円に達しました。決算書にありますように、わたしたちはハイチのために千百八十万円近くを送りました。

ハイチのほか、この一年の間、皆さまの愛により、次のところにも支援を送ることができました。

マダガスカルへ、教育プロジェクトと小教区の支援のため。アルゼンチンへ、イエスのカリタス修道女会のシスターたちがブエノス・アイレスのプロジェクトのため。ブエノス・アイレスのプロジェクトは、その地区の最も貧しい人々を助けるものです。シスターたちは二〇〇八年からアルゼンチンで献身的に働いています。

わたしたちはまた、**スーザン**のカラカラ診療所の経費の大きな部分を支援することができます。新しい建物や施設の写真も見ました。医療を受けられなかつた多くの人びとがここを利用できるようになりました。ご存じのようにスーザンの政情はいまだに予断をゆるしません。今年の一月、スーザンのサレジオ会の長上、フェリントン神父が日本を訪れました。スーザンで宣教師として働き、癌の療養のために帰国した韓国出身のヨハネ李神父を見舞うためでした。そのあとで日本に立ち寄られました。フェリントン神父が見舞つた数日後、李神父は亡くなりました。彼は医師としてスーザンの貧しい人びとのために献身的に働き、二一世紀の「ドクター・シユバイツァー」と呼ばれるほどでした。もちろん、「スーザンの子どもを助ける会」の援助も送ることができました。ドナーティ神父は援助してくださった皆さんに感謝しています。八三歳の神父は子どもや若者たちのために元気にたくさんいます。

の活動を行つています。もちろん若者たちを活気づけるために、音楽、特にプラスバンドは欠かせません。**ボリビア**の宣教師、倉橋神父は今年の一、二月、年に一度の眼の検査のために日本に帰国しました。皆さんのが倉橋神父と話し、親しく交流し、その計画について聞き、ボリビアの国と人びとにについて理解を深めることができます。わたしは倉橋神父の疲れを知らない活動、話、人びとの交流に感銘を受けました。倉橋神父が多くの人びとにまがつて希望と助けをもたらすことができるようになります。今年は、倉橋神父が宣教師になつて三十年目になります。十二月末から、短期の予定で帰国されます。

ソロモン諸島の宣教師、春山ラップ神父は四月から六月にかけて帰国しました。多忙な中、DBVGのニュースレター「Ciao チャオ」のインタビューに応え、物事を新鮮な目で見る視点を提供し、興味深い話をしてくれました。ラップ神父も、皆さまの継続的な支援に感謝しています。

ペルーのイエスのカリタス修道女会の事業のためにも、クリスマス号で支援を呼びかけ、その後、皆さまの援助を送ることができます。十二月末から、短期の予定で帰国されます。

ボリビアの子どもたち、若者たちのために働いているシスター小濱（サレジアン・シスターズ）の活動のためにも援助することができます。また、**東チモール**の教育プロジェクトを支援することができます。

このように、世界各地の貧しい人びとのもとに届けられた皆さまの貴重な支援を心より感謝いたします。

この度、大城神父から支援のお願いが届きました。大城神父は一九七〇年代に日本で働き、三年前にも一時日本に戻つていましたが、今、ペルーのパカリバの無原罪の聖母教会で働いています。非常に貧しい場所です。たくさんの子どもや若者が集まる教会ですが、彼らを受け入れる場所がなかったので、床面積一五〇m²ほどの二階建ての建物の建設を始めました。資金のめどは立つていますが、世界中からの善意の支援に信頼しています。二百万円ほどの支援を願っています。

以上、この一年の報告をさせていただきました。

浜松教会のパドヴァン神父の要請により、**ブラジル**のカンピナス小教区のプロジェクトのため、一万ドルを送ることができます。以上、この一年の報告をさせていただきました。

発展途上国援助・ドンボスコ基金

2009年度決算書

(2009年4月1日～2010年3月31日)

(単位：円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	項目	金額
前年度繰越金	11,678,487	寄付金支出	33,193,087
寄付金収入	26,321,303	#内訳	
#内訳(意向先別)		ソロモン	1,200,000
1任意(DBKに委託)	10,621,132	ペルー	2,200,000
2ボリビア	4,887,855	アルゼンチン	1,025,300
3ハイチ地震	6,730,434	ボリビア	5,100,000
4スーダン	1,548,960	マダガスカル	1,865,500
5ペルー	1,196,805	スーダン	6,900,000
6ソロモン	1,135,460	ハイチ地震のため	11,769,900
7チリ地震	103,140	東チモール	1,900,000
8フィリピン(オンドイ台風)	97,517	ウルグアイ	190,880
		ブラジル	1,041,507
		フィリピン(オンドイ台風)	97,807
		事務経費	456,355
		#内訳	
		送金手数料	91,028
		通信費	282,400
		事務費	82,927
		合計	33,649,442
受取利息収入	3,083	次年度繰越金	4,353,431
		#内訳	
		振替口座	374,350
		ゆうちょ銀行	3,953,897
		現金	25,184
収入の部合計	38,002,873	支出の部合計	38,002,873

2010年6月1日

発展途上国援助・ドンボスコ基金
代表者 チプリアニ・アルド

監査報告書

発展途上国援助・ドンボスコ基金の2009年度会計は、
収入・支出とも公正かつ適切に行われたものと認めます。

2010年6月3日

発展途上国援助・ドンボスコ基金

監事 渡辺 新



監事 リチャード・スミス

(注)2010年4月1日以降送金した主な援助は次のとおりです。

①アルゼンチンCSG 1,000,000円 ②ペルー-CSG 500,000円
③チリ地震 103,140円

ボリビア支援金の使途 (倉橋神父様より報告)

US \$

- | | |
|------------------------|--------|
| 1. 庶民学校建設 | 34,723 |
| 2. サンタクルス県「ドン・ボスコ庶民学校」 | 9,000 |
| 3. 子どもたちの学費援助 | 5,760 |
| 4. 貧しい子どものための「無料食堂」 | 1,260 |

ラップ神父様に伺いました



し・誰かと

Q: ソロモンで最初に驚いた事は何だったでしょうか？

し・ソロモンには、ストリートチルドレンもホームレスもいませんよ。東南アジアに行く事のある人は分かっているけど、街にはストリートチルドレンがいて、ホームレスがいて物をいをしていますね。でもね、ソロモンにはいませんね。満たされるんです。欲しないんだね。足りてい

Q: 満ち足りている……。私たち日本社会から見ると「貧しい国」と思いますが、彼らにとってはそんなことは無い。ことですね。きっと日本の流れ方とも違うのでしょうね。

し・誰かと

(DBKG ニュースレター「Ciao チャオ」より)

ソロモン諸島へ宣教師として赴任してから5年。2年ぶりに日本に一時帰國なさったラップ神父さまからソロモンの「普通の人々の生活」について大変興味深いお話しを伺いました。

Q: ソロモンで最初に驚いた事は何だったでしょうか？

し・ソロモンには、ストリートチルドレンもホームレスもいませんよ。東南アジアに行く事のある人は分かっているけど、街にはストリートチルドレンがいて、ホームレスがいて物をいをしていますね。でもね、ソロモンにはいませんね。満たされ

ます。こちらも忙しいから凄く怒つたりするけれど、彼らはじーっと聞いてるだけ。「なんでそんなに怒ってるの、「どうせ明日には来ないな。」と思つて僕が出掛けてしまい、留守の時に来たりすることもあって、そうすると彼らはざーっと待つてる。夕暮れになつて「あ、ラップは帰つてこないな」と思つたら怒ることもせずに帰つていきます。

Q: ソロモンの「く一般的家庭の一

日とは、どの様な感じなのですか？

し・ソロモンでは村全体が家族という感覚なのです。一日の過ごし方も、起きたい時に起きて そうするとお母さんが用意しておいたお芋があるから、食べたい時に食べて それぞれ働きに行ったり、学校へ行つたり遊びに行つたりします。どこのお母さんのお芋を食べてもいいんです。

Q: ソロモンならではの物の考え方(見方)だなという事が教ええてください。

Q: ソロモンならではの物の考え方(見方)だなという事が教ええてください。



DBK だより 第5号
2010年7月23日

発行人：アルド・チプリアニ
発行所：サレジオ管区本部
〒160-0011
東京都新宿区若葉1-22-12
tel : 03-3353-8355
fax : 03-3353-7190
dbk-gia@donbosco.jp.org

ご寄付くださる方は
以下にお振り込みください。

郵便振替 口座番号
00100-4-560725

加入者名
発展途上国援助・ドンボスコ基金

